

山口市立保育園・幼稚園・認定こども園遊具点検業務仕様書

1 目的

本業務は、山口市立保育園・幼稚園・認定こども園に設置した遊具等を、本仕様書及び関係法令・条例・規則等に従って点検を行い、遊具等を良好な状態に維持することを目的とする。

2 仕様書の適用

本業務の実施に当たっては、本仕様書及び一般社団法人日本公園施設業協会の遊具の安全に関する規準（JPFA-SP-S:2024）に基づき行うこと。

3 点検の対象

（1）点検業務の対象園

別紙「山口市立保育園遊具一覧・定期点検総括表」、「山口市立幼稚園遊具一覧・定期点検総括表」、「山口市立認定こども園遊具一覧・定期点検総括表」のとおり

（2）点検業務の対象遊具

別紙「各園遊具数」のとおり。一覧表と現地に違いがある場合は現地を優先とし、結果を発注者に報告すること。

4 履行期間

契約日の翌日から令和7年10月3日までとする。

5 定期点検の実施回数

定期点検回数は履行期間中1回とする。

なお、業務の実施時期は発注者、請負者と協議の上決定する。

6 業務従事者

管理技術者には一般社団法人日本公園施設業協会認定の「公園施設製品安全管理士」もしくは「公園施設点検管理士」、または同等の資格を有するものを配置すること。担当技術者には上記の資格のいずれか、もしくは「公園施設製品整備技士」もしくは「公園施設点検技士」、または同等の資格を有するものを配置すること。また、点検業務も上記の資格を有するものが行うこと。ただし、管理技術者と担当技術者の兼務はできない。

7 業務内容

（1）仕様書及び遊具の安全に関する規準（JPFA-SP-S:2024）に基づき遊具点検を実施し、点検業務報告書を作成すること。

(2) 機能・安全性については、仕様書及び遊具の安全に関する規準 (JPFA-SP-S:2024) により総合判定を行うこと。

(3) 「劣化点検」による劣化判定を行うこと。判定根拠について理由を簡潔に記載すること。

(4) 点検時処置

判定は、処置前の点検時の状態を記入すること。

(5) 点検項目他

点検は、個々の遊具点検表の点検項目を基本とするが、現場状況に応じて必要とされる項目は追加し、全て記録すること。

(6) 点検内容等

ア 点検前に現状の遊具の全景写真を撮影すること。また、点検項目の全てについて点検箇所の近景を撮影すること。

イ 遊具の木材部、鋼材部、金具類（接続部を含む）の腐食に関しては、目視、触診で状態を診断する。木材部は地際、表面の腐食はもとより、内部の腐食も留意、想定し慎重に点検すること。

ウ 基礎等のぐらつき、鋼材部、木材部の腐食については、目視、触診にて確認する。

エ ボルト接合部に関しては、レンチにて確認する。点検中にゆるみがあった場合は増締めを行うこと。

オ プラキャップや埋木等で、ボルトやナットが隠れている場合は、それらを外して点検すること。但し外すことで復元が出来なくなる可能性が高い場合は発注者と協議すること。

カ ボルト類が抜け落ちている場合や、その他の状況で損失している場合は、発注者に速やかに連絡すること。

キ ブランコ等の動作主要部分は、正常に働いているか、耐久性に問題がないか、また、組合せによる落下の危険性がないかについて特に注意して確認すること。

ク 塗装状態

塗装の状態の判定は下記の A～C に基づき判定を行うこと。

A：再塗装の必要がない

B：部分的に塗装が必要

C：全体的に塗装が必要

ケ 点検中に危険性、緊急性の高いものを発見した時は、即時発注者に連絡し、使用禁止等の安全処置を行うこと。また、点検業務報告書に処置内容について記入すること。

8 報告書の提出

一般社団法人日本公園施設業協会の遊具の安全に関する規準（JPFA-SP-S:2024）に基づき、施設ごとに総括表及び定期点検表及び写真台帳を 1 部作成し、紙と電子データを発注者に提出すること。総括表については、別紙「山口市立保育園遊具一覧・定期点検総括表」、「山口市立幼稚園遊具一覧・定期点検総括表」、「山口市立認定こども園遊具一覧・定期点検総括表」を使用・加工して報告することも可とする。

9 業務に関する疑義等

本業務に際して疑義が生じた場合は、発注者と密に連絡を取り協議を行うこと。また、本仕様書に定めがない事項については、「都市公園における遊具の安全確保に関する指針（改訂第 2 版）」（国土交通省）及び「遊具の安全に関する規準」（JPFA-SP-S:2024 一般社団法人日本公園施設業協会）を準用すること。

10 特記事項

- ・使用禁止措置を行う必要がある遊具については、随時発注者に報告を行うと共に、報告書に明示して納品すること。
- ・遊具点検記録一覧として、全遊具の評価結果が容易に把握できる資料を提出すること。
- ・写真撮影箇所は、園庭の全景（遊具の配置が分かるもの）。全遊具、全項目の近景確認写真とし、全て電子データへの添付対象とする。
- ・写真撮影箇所の内、報告書へ添付する対象は、全遊具の全景、近景に加え、劣化点検により B 判定以下となった項目の近接点検写真全てとする。